

科目名	美術科指導法Ⅱ		科目コード	5010	
開講学科	教職課程	単位数	2	形態	講義
教員名	久富 誠				
授業の目的及びテーマ					
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校学習指導要領解説美術編及び高等学校学習指導要領解説芸術編を学ぶ。 ・中学校美術科の目標、高等学校の美術・工芸の目標を学ぶ。 ・美術科指導法Ⅱの目標を学び、学校教育における美術科を考える。 ・わかりやすい美術科指導案を作成する。 					
授業概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育における広義の美術教育のこれからを主題とした討議と考察を深める。 ・美術科学習指導案を適正に作成し、わかりやすい授業を研究する。 ・生活や社会における美術や工芸の役割について考察し、討議する。 					
授業計画					
<p>第 1 回：・美術科指導法Ⅱの授業目標と達成目標、授業方針と授業概要について理解する。</p> <p>第 2 回：・中学校学習指導要領解説美術編及び高等学校学習指導要領解説芸術編、美術編を学ぶ。 ・これからの美術科指導のあり方について理解する。</p> <p>第 3 回：・学校の「教育指導の計画」を理解し、美術科の目標はどのように設定するか考える。 ・美術科年間指導計画の作成について理解する。</p> <p>第 4 回：・美術科指導計画を作成する。 ・指導案の作成にあたり題材設定の理由（生徒観、教材観、指導観）について特に留意する。</p> <p>第 5 回：・美術科学習指導案を作成する。・指導目標、評価規準、指導計画、学習の展開を熟考する。</p> <p>第 6 回：・わかりやすい授業を目標に導入時のワークシートの活用や参考作品の提示を工夫する。</p> <p>第 7 回：・情報機器を活用した作品の鑑賞会と意見交換などの授業展開を考える。</p> <p>第 8 回：・作成した指導案及び、授業展開案に基き、模擬授業を想定し、自己点検及び、評価を行う。</p> <p>第 9 回：・篆刻をつくる 1・篆刻作品の制作を通じて、美術の指導と評価について考える。</p> <p>第 10 回：・篆刻をつくる 2・陽刻、印刻など印面のデザインや紐のデザインの豊かさを評価する。</p> <p>第 11 回：・篆刻をつくる 3・印面が完成したら捺印し、制作を振り返り、工夫した点を記入する。</p> <p>第 12 回：・篆刻をつくる 4・作品の合同鑑賞会を行う。篆刻の印面や全体のデザインを評価する。</p> <p>第 13 回：・美術史を学ぶ 1・西洋美術 代表的な作品や文化遺産の素晴らしさを生徒に紹介するためには美術史の知識は不可欠である。鑑賞教材を通して代表的な美術作品と出会う。</p> <p>第 14 回：・美術史を学ぶ 2・日本美術鑑賞教材「名品コレクション」を通し代表的な作品と出会う。</p> <p>第 15 回：・生きる力と美術教育 ・激変する社会の中で、これからの美術教育の姿を考える。</p>					
テキスト	「アート教育を学ぶ人のために」 竹内博、長町充家、春日明夫、村田利裕編 (世界思想社)	参考文献	中学校学習指導要領（文部科学省）、 「美術資料」京都市立芸術大学美術教育研究会 (秀学社)		
評価方法：					
課題提出 2 課題及び作品提出、最終課題（学習指導案）提出					